

田方だけでなく、静岡県東部全体の医療拠点である順天堂静岡病院。ここでは、総合周産期母子医療や、がん診療連携拠点などとして最先端の高度医療のほか、三次救急医療施設（救命救急センター）としても、救急医療が行われています。



順天堂静岡病院全景

伊豆半島の救急医療
最後の砦

救命救急センター

順天堂大学医学部附属静岡病院



24時間体制による治療、看護、管理を行うICU、心疾患などに集中管理センターでは夜間も多くの専門医が待機し、様々な症状、年間2万人以上の救急外来に対応すること
多くの人が救急車の利用について正しく理解しているからです。近年、救急車の出動件数が増える一方で半数以上は入院が必要ない人だった（総務省消防庁調べ）、という救急車の不適正利用が全国的に問題になっています。救急車は、緊急に病院に搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。本日に救急車を必要とする事故が発生した場合に、救える命が救えない事態が起きないように、これからは救急車の適正な利用を心がけましょう。

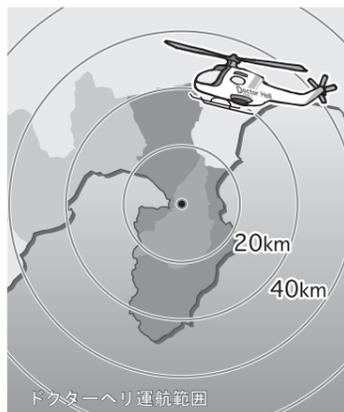
順天堂静岡病院ホームページ <http://www.juntendo.org/>



重症患者を優先的に

卯津羅 雅彦 医師
(順天堂静岡病院 救命救急センター長)

ドクターヘリの導入により、医師がいち早く現場に駆けつけ、より充実した医療行為が行えるようになりました。現場では、医師も救急救命士も「患者を助ける」という目的のもと、お互いの技術・経験などを活かし合って、救命活動をしています。また、病院での診察も、重症患者を優先することで、待ち時間が長くご迷惑をお掛けすることもあります。田方地域の人は他地域に比べ、深い理解をいただいていると感じています。



ドクターヘリ運航範囲

ターヘリならば、わずか15分で到着できるのです。この機動性の高さから、災害時の活躍も期待されます。順天堂静岡病院には、軽症患者から緊急を要する重症患者まで、毎日1,500人前後の人が外来診察に訪れます。皆さんの理解に支えられ、順天堂静岡病院は田方地域の医療と救急の最後の砦として、地域の皆さんの命と健康を支えています。

このように田方地域の医療・救急機関は、それぞれの役割で連携して、救急医療の現場を支えています。しかし、医療は救急だけではありません。田方地域には医師や看護師、産科の不足や在宅医療など、まだまだ多くの課題が残されています。皆さんで現状を知り、理解していくことが、地域の医療をさらに充実させていくことにも『つながる』のです。



救急車でかけつける

下山 正美 救急救命士 (田方消防本部)

救急車は、皆さんからの119番で、24時間いつでも出動します。傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行った方がよいと思ったときには迷わず通報をしてください。しかし、緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車の利用は控えましょう。

救急車を利用しない場合も、患者の症状から判断して最適な医療機関を紹介することができます。病院選びに迷った時はお近くの消防署にお電話ください。

田方消防本部ホームページで救急救命に関する情報などを検索 <http://www.tagata-fd.jp/seikatu.htm>



「もしも」のときに
電話で駆けつける

救急車

田方消防本部



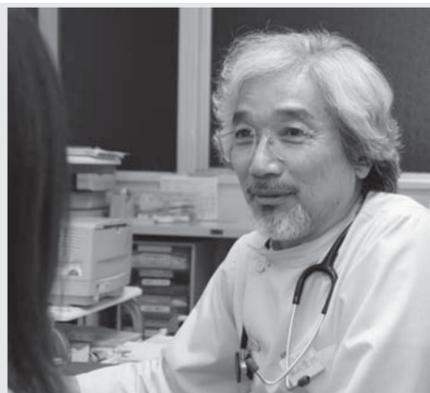
もしもあなたが、思いがけない急病や事故に見舞われたとき、電話で駆けつけ、病院に搬送してくれるのが、救急車です。田方消防本部には、2市1町(函南町・伊豆の国市・伊豆市)管内に1本部3署1出張所があり、計6台(予備1台)の救急車が配備されています。

田方消防管内では救急車の出動件数は今年6月までの半年間で2573件ありますが、その9割以上は医療機関に搬送しています(田方消防本部調べ)。それは、順天堂静岡病院をはじめとする地域の医療機関の受け入れ体制が確保できていることや、

田方のお医者さんが
交替で急患診察

夜間急患室

伊豆保健医療センター



夜間急患室の当直を勤める

杉山 達郎 医師 (函南さくらクリニック)

夜中に突然発症する病気は、風邪や腹痛というケースが多いので、経験豊かな開業医が診察する『夜間急患室』に来ていただければ、素早く症状を見極め、適切な処置ができます。もちろん入院や手術が必要な場合には、より高度な機能を持つほかの医療機関との連携システムも確立されています。安心してご来院いただきたいと思います。

ただし、『夜間急患室』はあくまでも急患対応なので、薬などは多くお出しできません。その点をご理解のうえ、ご活用ください。



昭和57年、旧田方郡の町村と田方医師会が共同で設立した伊豆保健医療センターでは、5年前から夜間急患室を開設しています。夜間急患室とは、伊豆保健医療センターの夜間当直医に加え、毎日20時から23時の3時間、田方医師会所属の地域の開業医が協力して、2人体制で急患の受け入れを行うシステムです。これにより、外科系・内科系のどちらの急患も安心して受診できるようになりました。(23時以降は単科診療になります) 診療で入院が必要と判断された

場合には、二次救急待機病院への搬送や、さらに高度な医療を必要とする重症患者は、三次救急病院(救命救急センター)である順天堂静岡病院への搬送など、近隣の医療機関と連携しています。皆さんも、夜中に急病になってしまったときは、夜間急患室を利用しましょう。来院前には電話をお願いします。また、保険証を忘れずにお持ちください。伊豆保健医療センター (0558・76・0111)